

学生団体連絡会議

府大に存在する11の学生団体は、学生団体間の情報交換および調整などを行い、単独の学生団体だけでは解決が困難な問題に対処するため、月に1度『学生団体連絡会議』（以下、学団連）を行っています。その中で以下に挙げる活動を行いました。

これまでの活動

① 七夕祭実行委員会に協力しました。

学生自治会は七夕祭が学生生活を盛り上げるものであり、よりよい学生生活のためになると考えたため、活動場所として学生自治会室を提供し、実行委員として自治会役員が参加するなどの協力を行いました。

しかし、第38回七夕祭の中で、一部の模擬店が規定を違反したことから、大学より以後の七夕祭の開催を認めないという旨の通達がありました。それに対し、学生自治会は学団連の構成団体として、七夕祭の存続に関し、第38回七夕祭実行委員会に協力してきました。

② 全学新歓実行委員会が発足しました。

11月の学団連にて、「大阪府立大学に入学してくる新入生がこれから抱くであろう不安・疑問を軽減し、上回生や同回生との交流を深めることにより、新入生にいち早く大学になじんでもらい、より充実した大学生活を送れるようにサポートする」ことを目的に、第30回全学新歓実行委員会が発足しました。

③ B7棟倉庫封鎖に関する話し合いを行ってきました。

12月末頃からB4棟を中心に工学部棟を設置するための改修工事が行われることが決定しています。その結果、学生団体が借りているB7棟倉庫・B7棟北倉庫が封鎖されることになりました。これに対して、代わりとなる保管場所を用意するよう大学と話し合ってきましたが、結果として代替となる保管場所を得ることはできませんでした。

④ ステージに関する情報交換・調整を行いました。

学生会館前のステージの利用に関して、使い方における問題が生じたため、ステージ管理委員会の要請により、学団連にて各学生団体に対してその問題の説明を行いました。

⑤ 学生センターとの話し合いを行ってきました。

正確な大学の情報を把握し、大学との相互理解を深めるため、月に1度学生センターと話し合いを行ってきました。

また9月の話し合いの際、創基130周年事業についての協力を行う「学生大使」に就任してほしい、という依頼があり、学生自治会は創基130周年事業が学生の自主的な活動の手助けとなることから、委員長が「学生大使」に就任することを引き受けました。

これからの活動

① 継続して学団連を開きます。

これからも月に1度学団連を開き、学生団体間の情報交換や調整を行います。

その中で、B7棟倉庫・B7棟北倉庫や文化部倉庫の取り扱いについて話し合いを進めていきます。

② 全学新歓実行委員会に協力します。

前に挙げたように、11月の学団連にて第30回全学新歓実行委員会が発足しました。全学新歓実行委員会では、目的を達成するために、講義の紹介冊子作成や、「であい・ふれあい・かたりあい」の開催といった活動を検討しています。学生自治会はこの活動が新入生の学生生活をよりよくするものであると考えたため、活動場所として学生自治会室を提供する、実行委員として自治会役員が参加するなどの協力をしていきます。

③ 七夕祭実行委員会に協力します。

前に挙げたように、現在、七夕祭の存続が危ぶまれています。しかし、七夕祭は学生生活をよりよくするものであると学生自治会は考えます。そこで、学生自治会では、七夕祭の存続に関して、七夕祭実行委員会に協力していきます。

④ クラスオリエンテーション調整会議を設置します。

学団連にて、今年のクラスオリエンテーションを円滑に進めるために「クラスオリエンテーション調整会議」を設置し、クラスオリエンテーションの目的を決定し、必要な事項の検討・調整・連絡を行います。

⑤ 入学式・クラブ紹介調整会議を設置します。

学団連にて、今年の入学式でのクラブ紹介を円滑に行うようにするため「入学式・クラブ紹介調整会議」を設置し、今年のクラブ紹介の目的や、クラブ紹介を実施するにあたって必要な事項の検討・調整・連絡を行います。

⑥ 新入生歓迎時期の新入生への勧誘活動の規制を行います。

例年4月あたりの新入生歓迎時期には多くのクラブ・サークルなどの団体が勧誘活動を行います。しかし中には行き過ぎた勧誘を行う団体も出てくる可能性があります。行き過ぎた勧誘は、新入生にとって負担になることが考えられます。そこで、学団連を通してそのような勧誘への対策を考えるなどして、今年の新入生歓迎時期を問題なく終えられるように、話し合いを行います。

⑦ 学生センターとの話し合いを引き続き行います。

今後も学団連を構成する団体は、月に1度学生センターとの話し合いを行い、大学と情報を交換します。学生自治会は、その中で有益な情報が得られた場合、『NASCA』やポスターなどを通して学生に発信していきます。また、前に挙げた「学生大使」として創基130周年事業に協力していきます。